

次代を担う人材の育成を目指し 全国に広がる交流活動

出張授業や意見交換会などを積極的に開催

教育改革の推進には、学校と家庭や地域社会、企業との連携・協力が不可欠である。

学校と企業・経営者の交流活動推進委員会（山中信義委員長）では、「交流活動の実践を通じて、さまざまな課題を抱えるわが国の学校教育の改革推進に寄与する」ことを目的とし、経営者自らが主に中学校や高校に出向き、生徒を対象とした出張授業や、教員（校

長等管理職および教諭）の研修会、保護者との懇談会等で講師を務め、教育現場と活発な交流を実践している（講師登録者約120名）。本活動は、会員有志による無償の活動であり、今年で10年目を迎えた。

2008年度の講師派遣件数は140件、講師延べ人数は290名であり、今年度はさらに活発な活動を展開していく。

第1回 学校と企業・経営者の交流活動推進委員会

出張授業に役立つ

「話しことば実践講座」

プログラム

第1回学校と企業・経営者の交流活動推進委員会

開催 8月3日 日本工業倶楽部 第6会議室

講師 加藤昌男氏（NHK放送研修センター 日本語センター 専門委員・エグゼクティブ・アナウンサー）

◇第1部（10:00～12:30）

テーマ 「話しことば実践講座・基本編 ～分かりやすく魅力的な授業の進め方～」

◇第2部（13:45～16:15）

テーマ 「話しことば実践講座・応用編 ～説得力のある授業の組み立てと話し方～」

2003年度から毎年開催し、出張授業などでとても役立つと好評を得ている「話しことば実践講座」が、09年度の第1回目の委員会として8月3日に開催された。講師にNHK放送研修センター 日本語センター 専門委員の加藤昌男氏を招き、出張授業を想定しながら、基本編・応用編の2部構成で実習を行った。



学校と企業・経営者の交流活動推進委員会 2008年度の活動実績

	対象	実施件数	実施例
出張授業	小学生	4	杉並区立東田小学校 / 滋賀県長浜市立神照小学校 / 文京区立駒本小学校ほか
	中学生	42	杉並区立高南中学校 / 足立区立栗島中学校 / 板橋区立中台中学校ほか
	高校生	25	都立松原高等学校 / 昭和女子大学附属昭和高等学校 / 福島県立須賀川桐陽高等学校ほか
講演会・懇談会	教員	46	北多摩中地区公立中学校研究協議会 / 全国連合小学校長会 / 横浜市教育委員会 / 埼玉県立総合教育センターほか
	保護者	10	世田谷区立中学校PTA連合協議会 / 墨田区立中学校PTA連合研究大会 / 墨田区立両国中学校ほか
その他	一般ほか	13	東京都キャリア教育推進フォーラムほか
	合計	140	

第1部の基本編のテーマは「分かりやすく魅力的な授業の進め方」で、分かりやすく的確な情報伝達を目指す「話しことば」トレーニングや、効果的で魅力的な授業の組み立て方などについての講義が行われた。また、第2部の応用編では、説得力のある授業の組み立て方や、生徒たちの参加感を高める話し方などの実習、映像などの資料の効果的な使い方など、実践的な内容が紹介された。



加藤昌男氏
NHK放送研修センター
日本語センター 専門委員

1966年にNHKに入局。96年徳島放送局局長、98年東京アナウンス室エグゼクティブ・アナウンサー、99年NHK放送研修センター日本語センター エグゼクティブ・アナウンサーを経て、2006年現職に就任。話しことばや話し方に関する著書も多数執筆している。

修学旅行で上京した生徒を対象に出張授業を実施



■開催:5月27日(水) ■対象:修学旅行中の中学3年生(約180名)

講師

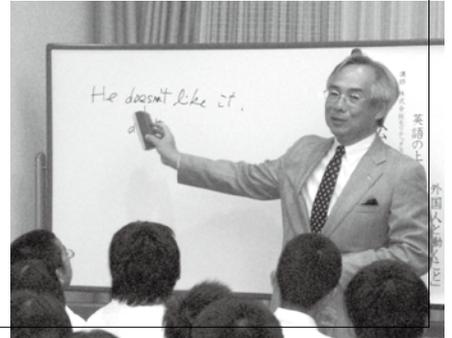
※所属・役職は開催当時

市川 俊英氏
(三井不動産 常務執行役員)
井上 明義氏
(三友システムアプライザル 代表取締役)

松岡 昇氏
(ショット AG パイスプレジデント
ファイバーオプティックス アジア)

修学旅行で上京した同校の生徒を対象に、2005年度から毎年この出張授業を実施している。今回は3名の講師がそれぞれ約60名の生徒を担当し、宿泊施設であるハートンホテル東品川の会議室にて開催された。自らの可能性を信じることや、学ぶことの大切さなどについて、実体験を交えながら話を展開し、今後の進路に悩む生徒たちに力強いアドバイスとエールを送った。

▲写真左上:井上氏 右:松岡氏▶



現場の多様なニーズに対応した「マナー講座」を開催



墨田区立本所中学校
■開催:6月19日(金)
■対象:職場体験を控えた中学2年生(約181名)

墨田区立墨田中学校
■開催:7月6日(月)
■対象:職場体験を控えた中学2年生(約73名)

講師

※所属・役職は開催当時

永田 順子氏
(日本航空インターナショナル 執行役員)

教育現場からの多様なニーズに対応するため、講師の専門性を活かした特別授業も実施している。墨田区立の二つの中学校では、永田順子副委員長が講師を務める「マナー講座」が開催された。日本航空のキャビン・コーディネーターである小林秀代教官の実演を交えながら、正しい礼儀や挨拶、言葉遣いといったマナーの向上を図るとともに、社会人としての資質や能力などについてレクチャーした。



社会に求められる人材像や資質を生徒と一緒に考える



■開催:6月25日(木) ■対象:同校の1年生(約250名)

講師

※所属・役職は開催当時

有田 浩之氏
(ブラックロック・ジャパン 取締役社長)
遠藤 勝裕氏
(日本証券代行 取締役相談役)
倉田 進氏
(KURATA and ASSOCIATES 東京オフィス代表)

倉橋 泰氏
(ばど 取締役社長)
竹中 誉氏
(エル・ピー・エス 取締役会長)
西村 英俊氏
(双日 顧問)

都立井草高等学校では、1年生(6クラス)の生徒を対象に、6名の講師による出張授業が実施された。「社会の求める人材」をテーマに各講師がグループごとに講演し、働くことの意味や楽しさや、自分の夢や目標を追求することの大切さなどについて語りかけた。さらに、これからの社会はどんな人材を必要としているのかを、実社会での経験を踏まえてアピールし、生徒との意見交換も活発に行われた。

▲写真左上:倉橋氏 右:西村氏▶

